

# 「四国コンテンツ映像フェスタ2017」上映審査会・表彰式を開催

《四国を元気にする3作品が最優秀賞を受賞》

四国総合通信局(局長:吉武 久(よしたけ ひさし))は平成30年1月30日(火)高松市のBBスクエアにおいて、四国情報通信懇談会(会長:松田 清宏(まつだ きよひろ)四国旅客鉄道株式会社相談役)とともに「四国コンテンツ映像フェスタ2017」上映審査会・表彰式を開催し、62名が参加しました。「四国コンテンツ映像フェスタ」は「地域づくり・人づくり」を目的に、地域のデジタル動画コンテンツ制作者に作品発表の機会を提供するもので、11回目になる今年は全70作品の応募がありました。

当日は、三部構成で、はじめに、高松市在住で銀行員でありながら映画監督として地元香川をPRする作品を制作するなど、マルチに活躍されている香西 志帆(こうざいしほ)氏を講師に迎え、ご自身が脚本・監督・編集した高松市特産の盆栽を紹介する「盆栽たいそう」プロモーションビデオの話を受けて講演いただきました。同作品は「ハリウッドドリームズ国際映画祭」(本年8月米国ラスベガス)で、「ベストヤングパフォーマー賞」及び「ベストミュージックビデオ賞」の2部門で受賞しています。香西氏は、「夢を叶えるためには、ずっと思い続けることが大事」、「新しい発想は、過去に好奇心を持って見たものや得た知識から生まれる」と呼びかけました。

上映審査会及び表彰式では、全作品から「四国を元気にする」をテーマに「アマチュア」、「プロ・セミプロ」及び「小・中学生」の部門別に、Web審査及び審査員審査によりノミネートされた11作品を上映し、制作者のプレゼンや審査員による講評のあと、部門別に「最優秀賞」、「優秀賞」を発表・表彰しました。

このほか、「特に四国を元気にするテーマ」が表現されている優秀な作品を「特別賞」、ゲスト審査員の香西氏が選んだ作品を「香西監督賞」、ご来場の参加者が投票で選んだ作品を「オーディエンス賞」としてそれぞれ表彰しました。

参加者からは、「上映作品から地域などの再発見があった」「個人でも情報発信が十分にできることを感じた」「いろいろな場所に行きたくなった」などの感想が寄せられ、地域の人々の作る映像コンテンツが持つ地域の魅力を発信する力や可能性を知っていただく機会となりました。

四国総合通信局では今後とも地域映像に着目し、映像による地域コンテンツの効果的な発信力を身につけることを目指した映像制作研修会の開催、地域の魅力を捉えた動画を所有している自治体への応募の働きかけ等を行い、人材育成や地域活性化に取り組んでまいります。

## 【第一部 講演会】

演題:「夢をかなえる!企画脳になろう〜  
『盆栽たいそう』で香川を世界にPR〜」  
講師:映画監督 香西 志帆(こうざいしほ)氏

## 【第二部 上映審査会】

最終選考作品の上映、制作者によるPR及び審査員による講評

## 【第三部 表彰式】

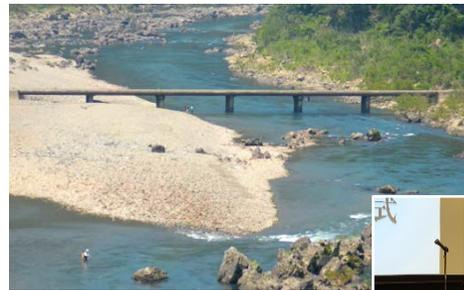
最優秀賞、優秀賞、特別賞、香西監督賞、  
オーディエンス賞の表彰

**受賞した11作品をすべてご覧いただけます。**

四国情報通信懇談会コンテンツ部会のHP  
[http://www.shikoku-ictcon.jp/?page\\_id=4947](http://www.shikoku-ictcon.jp/?page_id=4947)



【最優秀賞】小・中学生部門  
「ハンセン病ってDo you know?  
〜Let's go 大島!〜」  
高松市立庵治第二小学校 様



【最優秀賞】アマチュア部門  
「〜しあわせしまんとせいかつ〜」  
四万十町役場にぎわい創出課 様



【最優秀賞】プロ・セミプロ部門  
「絵金への誘い」小松 慎典 様



【お問い合わせ先】 情報通信部 電気通信事業課 089-936-5044